

# 各市町村で交渉

【串本町】10/7

差別事件は人権委員会  
でとりくみ、事実確認も一  
部の委員で対応するため、  
人権委員会全体のものに  
なっていない。人権委員会  
の研修や本人通知制度の周  
知徹底、漁業従事者への支  
援と対策を強く要求した。

【有田振興局】10/15

湯浅・有田市・広川の3  
支部が参加し、各支部の要  
求を振興局に訴えた。差別  
事件については厳しく追及  
し、研修内容に事例をとり  
入れるよう要求した。また、  
湯浅支部では、定例学習会  
を月一回ひらいている。町  
職員の参加を求めた。また、  
ケースワーカーなどの施設  
職員の研修を見直し、地域

の実態や生活保護世帯の実  
情をしっかりと把握できる  
研修となるよう訴えた。

【紀の川市】10/16

中村慎司・市長はじめ38  
人、支部から29人が参加。  
中村・市長は「21世紀は人  
権の時代ということ、あ  
らゆる人権問題にとりく  
んでいる」とあいさつがあっ  
た。

同和向け改良・公共住  
宅、西光万吉を記念した人  
権資料館、本人通知制度、  
那賀振興局に送られる差別  
メールについて協議した。

【伊都振興局】10/17

人権課題現況調査をふ  
まえた今後の同和行政の考  
え方(各別)や小中一貫  
校の成果と問題点につい  
て、橋本市の古佐田丘中学  
校の募集定員の削減問題に  
ついて議論した。

【新宮市】10/24

2012年、厚生労働省  
は「厚生労働白書」に子ど  
もたちの貧困問題について  
報告した。「子どもの権利  
条約」が国連で採択され、  
日本が批准し20年もの年月  
が流れた今である。6、7  
人に一人が就学困難といっ  
た状況のなかで、ひとり親  
世帯の貧困率はきわめて高  
い数値だ。ひとり親家庭が  
多く、親の不安定就労、多  
くの非正規雇用実態にある  
被差別部落の子どもたち  
は、さらに過酷な状況にあ  
る。ようやく施策を講じた  
国は「生活困窮者自立支援  
法」を本年4月に施行、子  
どもの教育についても支援

の対象となった法をスター  
トさせた。しかし、そういっ  
た貧困対策を一元化した担  
当部署を配置している市町  
村は、今のところ県内には

「新宮市人権課題現況調  
査」をもとに、部落問題解  
決に向けたとりくみや「事  
前登録型本人通知制度」の  
周知徹底、市職員の登録と  
3年毎の再登録を削除する  
よう求めた。また、登録は  
隣保館でも可能で、3年毎  
の再登録も見直される。

【東牟婁振興局】10/27

人権課題現況調査で明  
らかなった東牟婁地方の  
課題、とくに教育や就労の  
厳しい現状を訴えた。ま  
た、管内で続発する差別事  
件をふまえた対策を強く訴  
えた。

【和歌山市】10/27

各課に設置されている  
推進委員の具体的な課題を  
立案していくとりくみがみ  
えてこない。部落の立地状  
況は変わっていないのに、防  
災計画が作られている。最  
近は極地的な災害が発生し  
ており、地元住民を交えて

【若出市】10/28

協議をおこなうこと、第3  
次地域福祉計画が協議され  
るなか、地域への思いを吸  
い上げていく人が必要にな  
ることを要求した。市は来  
年度に認定こども園を策定  
していくうえで延長・早朝  
保育を考えていくとの回答  
があった。子どもの貧困に  
ついて、ひとり親家庭の貧  
困率が非常に高く、子ども  
の学力は親の経済力で格差  
が出ることを議論した。子  
どもの状況を理解した対策  
を強く要求した。

改良住宅、児童館、保育  
所、災害対策、差別事件等  
の課題をあげ「福祉と人権  
のまちづくり」に基づいた  
具体的施策の実施をせまっ  
た。関係機関等に任せるの  
ではなく、市が主導権を  
もって、市の事業として対  
応してほしいと要求した。

が、現実にはかけはなれてい  
る。和歌山県の人口減少を  
止めるには、まず生み育て  
る世代の就労対策や子育て  
支援、奨学金制度を充実さ

が、現実にはかけはなれてい  
る。和歌山県の人口減少を  
止めるには、まず生み育て  
る世代の就労対策や子育て  
支援、奨学金制度を充実さ

## 主張 子どもたちの 教育を守る闘いを 全力でとりくもう！

ほとんどののが現状であ  
る。家庭の収入が子どもた  
ちの学力や進路、将来への  
展望に影響を与えるような  
ことがあってはいけない

せる行政施策をすすめるべ  
きだ。加配教員の増員や同  
和・人権教育の推進、低学  
力の子どもたち中心の学校  
運営をすすめるべく、行政

交渉しなければならぬ。  
これまでの解放運動の  
なかから生まれ、被差別部  
落の親たちの「希望」と  
なっていた進学奨励資金制  
度(給付)は、高校進学率  
を飛躍的に上げた。しか  
し、現在は貸与制度へと変  
わり、貧困の連鎖は、自身  
の学力や能力に関係のない  
ところで将来をあきらめざ  
るをえない子どもを増やし  
ている。教育費やクラブ活  
動費、校外活動に一切費用  
負担のない教育環境を実現  
するため、今こそ真の解放  
教育をめざそう！

交際しなければならぬ。  
これまでの解放運動の  
なかから生まれ、被差別部  
落の親たちの「希望」と  
なっていた進学奨励資金制  
度(給付)は、高校進学率  
を飛躍的に上げた。しか  
し、現在は貸与制度へと変  
わり、貧困の連鎖は、自身  
の学力や能力に関係のない  
ところで将来をあきらめざ  
るをえない子どもを増やし  
ている。教育費やクラブ活  
動費、校外活動に一切費用  
負担のない教育環境を実現  
するため、今こそ真の解放  
教育をめざそう！

# 女性部で 狭山・現地調査

10支部15人の女性がデ  
モ行進終了後、事前学習し  
た。私たちが「狭山事件」  
にとりくむのは、石川さん  
の生い立ちはずべての部落  
住民と共有し、狭山事件を  
とりくむなかで、行政闘争  
や識字運動、子ども会、解  
放共闘などの運動へと発展  
してきたこと。だから「狭  
山事件」は運動の柱なのだ  
ということに胸に、翌日の  
現調に臨んだ。

翌日、狭山市駅に移動  
し、中央本部の安田聡さん  
の案内でスタートした。当  
時の狭山市駅は入間川駅と  
いう小さな駅で、人口は  
3万5000人であった  
が、今は15万5000人に  
増え、駅も大きくなった。  
石川さんの育った部落は、  
線路をはさんで駅の東側に  
あり、線路の高架をくぐる  
と部落だから近づくなどよ  
く差別されていた。

現調がすすみ、復元され  
た石川さん宅の鴨居をみる  
と参加者から「あんな低い  
鴨居の上にあるものを、2  
回の家宅捜索でみおとした  
のはおかしい。149センチの  
私でも万年筆はみえた」私  
は字が書けないから分か  
る。脅迫状はわざと間違っ  
ている。字が書ける人の文  
だ」という声があった。

参加者は、石川さんの無  
実をあらためて実感し、狭  
山の闘いは部落差別による  
えん罪事件で、部落解放運  
動の原点だという思いを確  
認した。

# 狭山事件を 考えよう



狭山事件を知ったのは、  
小学生の時、児童館の図書  
室だったといいます。

当時は、ただのマンガ  
でしかなかったと記憶して  
いますが、中学生、高校生  
になり、解放学習をしてい  
くなかで、あの時読んだマ  
ンガのことだと気付き、高  
校生にも分かる程の理不尽  
な事がなぜ裁判所では分か  
らないんだろう？と学習を  
すすめていくなかで、部落  
差別によってできたえん罪  
事件なんだと感じたことを  
覚えています。当時の新聞  
報道をみると、部落にたい  
する偏見、周辺地域の人た  
ちの「あそこの人ならやり  
かねない」といった差別意  
識など、腹立たしいことば  
かりが残っています。

高校を卒業し、はじめ  
て狭山中央集會に参加した  
時、人の多さにびっくりし  
ました。それと同時にそれ  
だけの人が狭山事件にたい  
して怒りをもって、とりく  
んでいるんじゃないと思いま  
した。なかには、同盟休校を  
して集會に参加し、狭山学  
習にとりくんでいる小学生  
の姿もありました。絶対に  
再審・無罪を勝ち取るんだ  
という強い思いが会場から  
は伝わってきました。

（松井資喜）

## 文化の窓

### 子どもと大人の パートナーシップ誌 「はらっば」

子どもに関するさまざまな情報が掲載  
されているが、子どもに限らずさまざ  
まなテーマの記事も掲載されている。今  
号は特集「障害者差別解消法」を暮らし  
のなかに生かそうと3者からの投稿や沖  
縄のわらべ歌「ウマカマデー」では、  
うーまく(わんぱく)を頼もしくも思いながら、心配し暖かく  
見守る子育てのようすが唄われている。



◆お問い合わせは県連・教宣部まで  
TEL 073-473-2301